

会議録様式

審 議 会 名	令和4年度第2回杉戸町総合振興審議会
開 催 日 時	令和4年7月11日（月） 午後1時30分～午後3時50分
開 催 場 所	杉戸町役場第1庁舎3階会議室
会 議 の 議 題	<p>①第6次杉戸町総合振興計画第1次実施計画の 事務事業評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務事業評価1 がん予防推進事業（健康支援課）</li> <li>・事務事業評価2 各種証明書等コンビニ交付サービス 運用事業（町民課）</li> </ul> <p>②第2期杉戸町まち・ひと・しごと創生総合戦略の 事務事業評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務事業評価1 保育園給食事業（子育て支援課）</li> <li>・事務事業評価2 子ども大学すぎと運営事業（社会教 育課）</li> </ul>
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ 非公開 （公開の場合傍聴者数 0人）
	（非公開の場合理由）
出席委員氏名	<p>【出席委員】</p> <p>木村三樹男、大橋登喜夫、板橋昇、宮野尾政子、 金久保繁、坂本吉江、水野順子、石井康之、佐々木誠、 菊地信一、新井晃、宮脇俊幸、亀田明憲</p> <p>【欠席委員】</p> <p>鈴木豊</p>
審 議 の 概 要	
<p>①及び②について審議を行った。 詳細は別紙のとおり。</p>	

## 【意見・質疑等】

### (1) 第6次杉戸町総合振興計画第1次実施計画の事務事業評価

#### ・事務事業評価1 がん予防推進事業（健康支援課）

#### 質問・意見①

(委員)

将来に向けて、有効性を考えた場合、受診者数が多ければ良いというものではないと思うが、対策型の検診として、血液での検査の範囲を広げられないのか。お考えをお聞かせ願いたい。

(健康支援課主査)

今現在行っております、がん検診につきまして、国の方の健康増進事業の中に位置付けられております、がん検診を実施しております。

そして、がん検診の種類・実施内容については、国のがん検診の指針に基づいた実施方法としております。対象年齢や検査方法は指針のとおりです。対策型のがん検診も国の指針に基づいて実施しております。現在、血液でのがん検診というものは、国の指針には入っておりませんが、前立腺については、町独自で血液検査で実施しております。

#### 質問・意見②

(委員)

先ほどの質問と同じなのですが、自分が受診している検診では、血液で多くのがん等の検査ができるので、その方が多くの方が受診するのではないかと。

(健康支援課長)

先ほどの回答で、国の指針に基づいて実施していると回答いたしましたが、今後、国の指針が改められる可能性もございますし、町独自の考えで実施できないかということに対しましては、この場ではお約束はできないが、情報を収集して検討してまいりたいと思います。

### 質問・意見③

(委員)

評価調書の裏面にある KPI に令和 3 年末に 13.8%とあるが、本日配布いただいた受診率のどこと一致するのですか。

受診率の分母と分子について、例えばサラリーマン等の勤めている人は会社でがん検診を受診している場合があると思うが、この数値には含まれているのでしょうか。

(健康支援課主査)

KPI については、町で実施したもので算出しております。本日配布した資料は、地域保健健康増進事業報告で提出しております数値で、がん対策推進基本計画及びがん予防重点健康教育及びがん検診実施の指針に基づいた対象年齢で杉戸町の該当する方を分母しており、町で受診された方の該当年齢の方で算出して数値となっているため、会社や事業所で受診された方は含まれておりません。

(委員)

KPI と本日配布いただいた資料は、基準が異なるので一致しないということでしょうか。

(健康支援課長)

そのとおりです。本日配布した資料は近隣市町との比較のための資料でございます。

### 質問・意見④

(委員)

集団検診を希望した方は、みんな受診できるのでしょうか。

受診を希望したが、定員とか予算の関係で予約できなかった方への対応はどうなっているのでしょうか。

(健康支援課主査)

集団検診について、ご希望される方は、今のところ皆様に受診いただいております。お断りはしていることはない状況です。

乳がんと子宮がん検診については、2年に1度、該当年齢の方に受診いただいているのですが、昨年、乳がん検診は予約が一杯で断る状況があったので、今年乳がん検診だけの日を多めに設定しております。集団検診が一杯でも、個別検診で受診できるよう医療機関に委託しておりますので、ご案内しております。

## 質問・意見⑤

(委員)

本日配布された資料の数値は、国保資格者や高齢者の保険の方を対象とした数値と理解しているが、よろしいでしょうか。

宮代町との受診率の差が、町民性によるものかと説明があったが、どのようなことでしょうか。

(健康支援課主査)

市町村がん受診率については、保険の種別を問わず、対象年齢で受診された方の受診率となっております。

(健康支援課長)

数値を見て担当と話しをしたのですが、検診の体制と受診勧奨の体制と、全て宮代町と差がない中で、数値の差はどこからくるのかということになると、町民性をいう単語が、適切ではなかったかもしれませんが、統計として発表されている資料の中で、検診を受けない理由についてアンケート調査の結果があるのですが、費用の問題ではなく、検査の結果が分かたら怖い、検査を受けるのが面倒だとか、国全体の統計資料がございます。同じ条件で実施していて隣接する自治体の中で数値の差が出てくるのが読み取りにくいというところで、町民性という言葉で説明させていただきました。

## 質問・意見⑥

(委員)

事業概要に記載がある、がんの早期発見と正しい健康意識の普及啓発を図るとありますが、健康意識の普及啓発について、何か取り組んでいることがありましたら教えてください。

(健康支援課長)

実際の窓口の現場で聞いた声からですが、幼稚園保護者の方は非常に忙しくて、お子さんが幼稚園に行ってから帰ってくるまでの間では、なかなか検診に行けないという話がありましたので、幼稚園の預かり保育の時間をご利用いただいて、保健センターでの集団検診を受けていただくということを啓発しながら進めているところがございます。検診を受けていただきたい方、比較的若年の方が検診を受けるにはどうしたら受けやすくなるのか、検討しております。その他に、もう一つ取り組んでいるのが、生命保険会社と連携協定がありますので、保険会社の方が訪問の際に、町の検診について薦めていただくという、違った切り口での取り組みも行っております。

## 質問・意見⑦

(委員)

検診は平日のみですか。

(健康支援課主査)

検診は平日もありますし、土日でもできるようになっております。

## ・事務事業評価 2 各種証明書等コンビニ交付サービス運用事業 (町民課)

## 質問・意見①

(委員)

マイナンバーカードの普及率に対して利用率が低いようだが、この原因をどのようにお考えなのか。例えば可能性としては、住民に対する情報提供が不足しているのではないかと考えられると思いますが、どのようにお考えか教えていただきたいというのが1点目、2点目は手数料の差額がないということですが、コンビニ交付の手数料を下げるという検討はされていないのでしょうか。検討状況を教えていただけたらと思います。

(町民課長)

1点目ですが、マイナンバーカードの普及に対して、コンビニ交付のPRが遅れているというご指摘だと思いますが、多少不足している点があるかもしれませんが、毎年度、利用が伸びている状況にはございます。いただいたご指摘等を踏まえまして、今後、効果的なPRを図ってまいりたいと思います。

2点目について、杉戸町においても令和元年度のコンビニ交付を導入した時期、その当初は、安くしていた時期がございました。

ただ、町の財政状況や、他の自治体の状況等を踏まえて、令和2年度からは、窓口とコンビニ交付の手数料を同額としております。

私どもといたしましては、手数料は同額としておりますが、コンビニ交付の方が順調に伸びていることを踏まえれば、手数料減額よりはPRに努めた方がいいのかと考えております。

#### 質問・意見②

(委員)

私の方からは質問ではなく感想なのですが、課長の説明が非常に分かりやすかったです。

事業も順調に進んでいると思うので、この調子で頑張ってください。

#### 質問・意見③

(委員)

調書の主要施策に窓口サービスの向上とあるが、窓口が空くことが狙いという理解でよろしいでしょうか。

(町民課長)

転出転入が多い時期は、窓口でお待たせしてしまう状況がございます。混んでいるときは、一時間も待っていただく方もいらっしゃる状況や、スペースの問題もあり、町民課の窓口が非常に狭いスペースで、その中で長時間お待たせしてしまっているような状況は、非常によろしくないと考えております。そのようなこと踏まえますと、窓口が空きますと町民の皆様の手続きがスムーズに進み、効率化が進み、我々職員もミスのない環境となります。それらを考えますと混雑の解消は非常に大事なことだと考えます。そのような中でコンビニ交付を行って窓口業務を効率化していけば、皆様方のサービスの向上にも繋がるし、我々としても適切に業務が行っていただけるので進めさせていただきたいというふうに考えている状況ではございます。

#### 質問・意見④

(委員)

マイナンバーカードの年齢層別の交付率はわかりますか。

(町民課長)

申し訳ございません。全体の交付率しか計算しておりません。今後、年齢層別の交付率も計算し、交付率を把握し今後の方向性ため、研究させていただきます。

#### 質問・意見⑤

(委員)

町民の利便性を図るという意味では、窓口もコンビニも両方利用できるという多様性が図れているので、大変いい事業だと思います。

国の施策とも関連すると思いますが、一時的に海外に行っている場合でも利用できるような、次の世代に向けた対応策を考えておくといいと思います。

(会長)

ご意見ということではよろしいでしょうか。

(委員)

意見ということで。

(町民課長)

貴重なご意見をいただきありがとうございます。

町民の中には、色々な方がいらっしゃいますので、多様なチャンネルで住民サービスの向上を図っていくことが必要だと思っております。

また、海外での利用につきましても、新たな制度設計が始まっているようなので、情報収集に努めたいと思います。

## (2) 第2期杉戸町まち・ひと・しごと創生総合戦略の事務事業評価

### ・事務事業評価1 保育園給食事業（子育て支援課）

#### 質問・意見①

(委員)

1つ目は、副食費についてのアンケートはないのでしょうか。

2つ目は、委託先のシダックスフードサービスについて、町外の企業かと推察しますが、3年間の委託の後で、また選定があるかと思いますが、その際に町の企業が参入する可能性はあるのでしょうか。

3つ目は、季節の行事食、イベント食について、いい取り組みだと思うのですが、日本の～ではなく、埼玉の～、北葛飾郡の～、地域限定の取り組みはあったりするのでしょうか。

(子育て支援課長)

アンケートについてですが、副食費の具体的な項目はございませんが、副食費も含めたという意味で捉えさせていただいております。2点目ですが、この度は、3年契約としておりますので、3年経過いたしますと新たに選定することになります。これにあたっては、安全安心な給食を提供するためには、これまでの実績、

アレルギー対策、外国の子どもの対応、そういった基準をクリアする必要はありますが、新たに意欲のある企業をこの時点で閉じてしまうという意図は全くございません。そういったところから、業者を改めて選定をさせていただいて、新たなセレクションを行っていきたく思っております。3点目でございますが、いかにして杉戸の食材を使って、また近隣市町の特色のある食材を使っていくよう、委託業者と協議して、前進していきたく思います。

#### 質問・意見②

(委員)

雇用の関係ですが、先ほどの説明で17名雇用したとありましたが、役場側で採用したのか、委託業者側で採用したのか、どちらでしょうか。

また、雇用した17名の男女比はどのようになっているのでしょうか。

(子育て支援課長)

雇用については、委託業者で行いました。しかし、町直営から民間委託に切り替わる際に、給食室の配置だとか、実情を知ってる方がそのまま残るのが望ましいですし、給料に関しましても、時給が下がらないような形で、いわゆる現給保障と言っておりますけども、こういった要件をですね、設定をいたしまして、委託業者の方に申し入れを行っております。この結果、17名が採用になったという次第でございます。

それと男女比でございますが、全て女性でございます。

栄養士・調理員の資格を持った性別の方が女性が多いというところから、致し方ないのかなというふうに考えてございます。

#### 質問・意見③

(委員)

町の持ち出しで約5,000万円とのことだが、アンケートの対象者144名で想定すると、1食あたりの費用が高いのではないのでしょうか。妥当性は。

(子育て支援課長)

3歳未満の場合は、1日当たりの単価が280円で設定しております。3歳以上は、250円で設定しております。この設定のもとに計算しております。そこに固定費や業者の利益もありますので、5,000万円からの一般財源の持ち出しとなっております。

(委員)

もう一点ですが、町立幼稚園の給食はどのような扱いとなるのでしょうか。



(子育て支援課長)

現状、公立幼稚園の方については、給食はございません。  
教育の位置づけということで、保護者の皆様にお子様に対して心が繋がるようなお弁当を作っていただくということも教育の一環としております。

#### 質問・意見④

(委員)

要望という形になりますが、私のいる地域では非常に評判がいいので、値上げせずに頑張してほしいという要望になります。

### ・事務事業評価2 子ども大学すぎと運営事業(社会教育課)

#### 質問・意見①

(委員)

このプログラムに外国の児童は参加しているのでしょうか。

(社会教育課主査)

昨年度、1名参加しております。

(委員)

昨年度、杉戸町の郊外のエコスポで実施しているが、今年度は市街地の役場での開催とのことだが、杉戸町内での開催回数を増やすことはできないでしょうか。

(会長)

私が実はこの計画に携わった直接の人間ですから説明申し上げますと、大学と杉戸町が包括的連携協定を結びまして、それに基づいて、こども大学すぎとの事業を実施しようとなり、そのときの最初の取り決めが、宮代町に大学があり、杉戸町と提携をしていくためには、同じ日に午前と午後に分けて、やらなければならないと取り決めがあり、全5回というのも最初の取り決めがありました。その5回のうち、1回は杉戸町のどちらかの施設を使いましょうとなっております。これは宮代町も同様の方式でございます。

(委員)

保護者にも好評を博したと書いてありましたが、アンケートを取った内容なのでしょうか。それともその場の雰囲気のようなものなのでしょうか。

(社会教育課主幹)

アンケートは、その都度、取らせていただいております。  
よかったという感想が、ほぼ全部と言っていいくらいでした。

### 質問・意見②

(委員)

調書の裏面に経済性とあるが、町で開催することで地域経済に波及があると想定していると思われるが、どのようにお考えか教えていただきたい。

事業概要に地域で子どもを育てるとあるが、日本工業大学以外で町民がどのように関わっているのか、読み取れなかったので、教えていただきたい。

(社会教育課主幹)

日本工業大学以外の講師としては、企業でいうと凸版印刷の研究者であるとか、杉戸町教育委員会の社会教育課には、文化財保護に携わる専門職が何名かおられますので、地元の郷土史とか地域史を、学校教育とは違った形で学んでいただいているということで講師を務めている。そういう意味で地域ぐるみで子ども達を育むと視点によっております。

経済効果については、町部局の考え方もありますが、社会教育課としては経済性にウエイトを置いてはおりません。長い目で見て、子どもが知的好奇心を触発され、将来的に地元還元するような人間になっていただければ、それこそ長い意味で経済的な効果が見込まれると思っております。

### 質問・意見③

(委員)

募集に対して、どのくらいの数の応募がありますか。

(社会教育課主査)

今年度は現在募集しているところがございますが、1週間で27名の募集があります。前年度は、34名の応募がございましたが、直前で3名の取り消しがありましたので、抽選はせずに応募された31名の方が参加しております。コロナの前は、最高60名を超える方が参加しております。

(社会教育課主幹)

日本工業大学との連携だけではなく、宮代町とのバランスを考えながら、大学でどのくらいの児童数が受け入れられるか実行委員会で検討して、最大60名ということで、コロナ前はやらせていただいております。

皆様のご協力、ありがとうございました。